

令和7年度 東京都立大泉特別支援学校 学校経営報告

東京都立大泉特別支援学校
校長 中島 雄佑

1 令和7年度の取組目標等に関する自己評価

「学び舎 大泉の整備大作戦 ～この学び舎は大泉、笑顔が、夢が、みんなが集まる～」の実施

課題	(1) 本校舎改築のための仮設校舎への移転の準備計画を立案し実行していく
結果	<p>① 令和9年7月を予定している仮設校舎の移転に向けた準備作業について、「学び舎 大泉の整備大作戦」として実行する → 学び舎大泉の整備大作戦会議を設置し組織的に対応している。「学び舎大泉整備大作戦」I期として6月より「教室と備品等の整備大作戦」を開始し、全室の棚卸作業と仕分け、把握のためのリスト作りを実施した。</p> <p>② 練馬区 → 板橋区 → 練馬区と学校所在地の行政区が変わることに注意し、地域・近隣との関係を維持できるように計画する → 学校間交流、行政との防災の申し合わせ、救急搬送の合意の維持などについて洗い出し、対応についての検討事項を明確にしている作業中である。</p> <p>③ ハード面だけでなくソフト面も含めた総合的な計画とする → 「大作戦」で扱う内容は、現時点では、○教室と備品等の整備大作戦 ○教育課程の整備大作戦 ○防災に関する整備大作戦 ○新校舎・仮設校舎設計・施工大作戦 ○仮設校舎への引っ越し大作戦 ○スクールバスと医ケア専用通学車両移行大作戦 ○学校経営組織の見直し大作戦 ○学校介護職員の業務と働き方の見直し大作戦 ○非常勤教員の働き方の見直し大作戦 ○基礎基本の指導についての検討 以上の10の項目で動いている。</p> <p>④ 新本校舎の設計作業を「50年の責任」と題して組織的に実行する → 「大作戦」で実行中。仮設校舎は設計が終了し建築工事が始まっている。</p>

課題	(2) 都の大きな方針変換による、教育課程の見直しを継続する
結果	<p>① 行事について系統性を含めて行き先・ねらいを検討した。 → 「大作戦」の一環として他の部署と連携し検討している。</p> <p>② 都の方針を受けての授業時数の見直しを昨年度から引き続き行う → 仮設校舎での始業時刻も含めた具体的な中身を検討している。</p> <p>③ 今年度の変更事項について、カリキュラムマネジメントで検証していく → 教務部を中心に発展させていくように実施した。</p>

課題	(3) 安心安全な学校づくりのグレードアップ
結果	<p>① 総合防災組織と訓練体系の見直し → 一泊二日宿泊防災訓練の廃止に伴う訓練の見直しと、仮設校舎での避難経路の設定を含めた防災計画への移行を検討している。</p> <p>② 医療的ケア関連業務の確実な実施 → 安全な実施のための手続きを含めたルールへの厳守、保護者付き添い期間の短縮へ向けた細かな努力を実施している。</p> <p>③ 相手の心情に寄り添った言葉の使い方の意識の強化と付随する人権感覚の強化 → 悉皆研修や校長講座での強化を実施している。</p> <p>④ 保護者学校評価「お子さんは、友達や教職員と楽しく学校生活を送れている」 → 非常にそう思う62% そう思う38% 計100%</p> <p>⑤ 保護者学校評価「本校はお子さんが安全に学習するための環境を整えている」 → 非常にそう思う43% そう思う57% 計100%</p> <p>⑥ 保護者学校評価「本校はお子さんの健康観察やケガの処置、体調不良時の家庭への連絡を適切に行っている」 → 非常にそう思う57% そう思う43% 計100%</p>

課題	(4) 特別支援学校の指導に関する基礎基本を再確認する人材育成
結果	<p>① 全職員が同じ定義で「専門性の向上」に努める → これまで各自で考えてきたが、定義を示した。</p> <p>② 飛躍的に伸びたDXの活用について「まだ足りない」という認識で取り組む → 個人の意識によるところが依然として大きい。外部専門員等を活用できるようにするなどスキルアップに関しての選択肢を増やしていく。</p> <p>③ 研究授業を活用した授業力の向上に取り組む → 外部専門員のアドバイザーのニーズが明確になり、次年度から総合的に授業改善に関する助言をしていただけるような人員を準備した</p> <p>④ 個別の課題への取り組みのきまり事を整え共有し、スタッフが連携しながら実施する体制を作る → 協働の基盤となる基礎知識の再確認と底上げを実施する。第一弾として学校介護職員への校長からの直接研修を実施した。</p>

課題	(5) 働き方改革の推進
結果	<p>① 自己管理の徹底 → 長期的なスケジュールに則った業務遂行の習慣化を図った</p> <p>② 「おかげさま」「おたがいさま」を大切にしたい、人間味あふれる職場づくり → 校長講座などで浸透させている。</p> <p>③ 男性の育児休業取得の案内と対象者への面接の実施 → 1名取得予定</p> <p>④ 働き方改革についての保護者の理解が得られるように、保護者会等で必ず話題にしてきた。 ↓ 正確な数値ではなく暫定的な数字として、在校時間は減っている。持ち帰りややりたくても他の分担でできない業務については把握できていない。</p> <p>⑤ プラスの業務である改築関連業務について → 年間を通じてソフトランディングで行えるように時間配分を夏季休業中を中心に計画的に実施した。</p>

2 令和8年度以降の課題とそれに対する改善策

本校は目指す学校として「児童・生徒の人権を大切にし、自己理解、自己決定、自己実現の教育を推進し、保護者の期待に応え、地域の中での役割を果たすため、安心・安全な教育環境を基盤とし、教職員が一丸となり誠実に謙虚に努力を継続していく学校」を掲げ、人権の尊重と思いやりの心を大切にし、「おかげさま」の感謝の気持ちがあふれる学校づくりに取り組んでいる。令和9年から始まる校舎の改築への対応である「学び舎大泉の整備大作戦」を中心とした学校経営を実行していく。

課題	(1) 本校舎改築に向けた準備と調整
改善策	<p>①令和9年7月の仮設校舎への移転に向けた準備と調整</p> <p>②仮設校舎の安心・安全な教育環境の準備</p> <p>③仮設校舎への通学に関する課題、放課後の過ごし方に関する課題への対応</p> <p>④仮設校舎における教職員の確保</p> <p>⑤新本校舎の実施設設計作業を「50年の責任」と題して組織的に実行する</p>

課題	(2) 仮設校舎で実施される教育課程の編成
改善策	<p>①令和8年度の教育課程を令和9年度以降の仮設校舎で引き継いでいくための検討</p> <p>②校外学習の定番化の実施</p> <p>③体育施設のない中での授業づくりの検討</p> <p>④練馬区 → 板橋区 → 練馬区と学校所在地の行政区が変わることでの地域・近隣との関係を維持するための計画</p>

課題	(3) 安心安全な学校づくりの強化
改善策	<p>①総合防災組織と訓練体系の点検と仮設校舎版への移行</p> <p>②医療的ケア関連業務のガイドラインに則った確実な実施</p>

	③相手の心情に寄り添った言葉の使い方の意識の強化と付随する人権感覚の強化 ④教員としての使命感の強化と服務規律の徹底
--	---

課題	(4) ライフ・ワークバランスの推進
改善策	①自己管理を中心とした働き方改革の推進 ②「おかげさま」「おたがいさま」を大切にした、人間味あふれる職場づくり ③定番化・ルーチン化する業務を増やし、書式を統一するなど業務量の縮小を図る ④男性の育児休業取得の案内と対象者への面接の実施

課題	(5) 人材育成
改善策	①経験年数の少ない教員への現場での指導の基礎基本の伝承体制の構築（OJT等） ②体系化された校内における年次研修の実施による検証と整備、ブラッシュアップ ③教員免許案件の積極的な協力 ④若手の積極的な登用による育成 ⑤校内研究のテーマとして、協働による授業づくりの実際として実行する。 例として「介護職と連携した授業づくり」「外部専門員を活用した授業づくり」 ⑥外部専門員の活用方法の改善